



特定非営利活動法人 富山県防災士会会報

(NPO 法人日本防災士会・富山県支部)

第 25 号

令和元年 10 月 1 日
発行 富山県防災士会
連絡先 090-9762-8267
(事務局長 : 佐伯)

特定非営利活動法人日本防災士会
北信越連絡協議会 令和元年度総会を開催



6 月 15 日、北信越連絡協議会総会及び研修会が福井市旭公民館で開催されました。富山県支部からは小杉理事、大坪副理事長、川戸副理事長、佐伯事務局長、島崎事務局次長と西島事務局次長の 6 名、新潟県支部からは 4 名、石川県支部からは 5 名、福井県支部から 5 名の参加でした。総会では平成 30 年度活動報告、収支決算、役員改選、令和元年度活動計画、予算等について議案書通り承認されました。

総会后、研修会が開かれ、NPO 法人ワネッツによる「原子力災害時の各対応について」の講演がありました。ワネッツとは隊員・支援隊員 130 名を擁する任意団体「地域住民のための原子力緊急援助隊 (NETAR・ニーター)」を運営し、若狭地方原子力職場の有志の地元退職者で構成される団体です。講演は 3 部構成で、第 1 部では NETAR の紹介、第 2 部で放射線リスクアセスメントの解説、第 3 部は実習でした。原子力事故が発生した場合に屋内に留まるか、避難所に行くか、誰かに助けに来てもらうか等の想定で実効線量を評価しました。北信越各支部の中で原子力発電所が無いのは富山県だけで、原子力防災についても防災士にとっては常識なのかもしれません。



尚、福井市旭公民館には福井出身の地震学者大森房吉の銅像が立っています。

第 3 回スキルアップ研修会
DIG 大雨・洪水編の説明・防災講座の資料をつくら

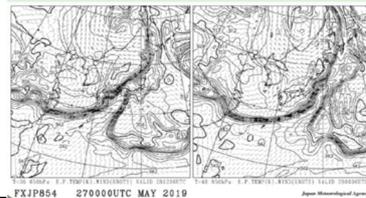


記念写真は彼の銅像の前で撮りました。(記 西島)
今年度第 3 回のスキルアップ研修が 7 月 9 日サンシップとやまで開催され、「災害図上訓練 (DIG) 大雨・洪水バージョンのポイント」、「パワーポイントで防災講座の資料をつくらう!」、「大雨の可能性を知る」という 3 つの講義がおこなわれました。DIG のお話では、イントロの写真・映像によってインパクトを与える手法や、質問タイムで質問がないときの講師からの発問 (避難スイッチは~) の進め方等、実践的なテクニックをいくつも披露いただきました。次にパワーポイントでの資料作成は、単にソフトの機能説明に終わることなく、講師の方が防災講座を手掛けてこられた中で工夫して資料に織り込まれたアニメーション技法 (断層のズレの種類を表現した図) 等を披露されました。3 番目の講義では、FXJP854 (数値予報天気図) によって大雨を予測できるという専門的な講義でしたが、この予報図を活用できるようになれば、予報官レベルの予測ができるようになる

大雨の可能性を知る

— 数値予報天気図 FXJP854 の利用 —

2019.07.06 富山県防災士会スキルアップ研修 西島幸記



かな?と感しました。どの講義も防災士のスキル向上に欠かせないものであり、この場に来なければ得られない体験をさせて頂きました。参加されなかった

富山県防災士会ホームページはこちら
当会の活動や取り組み等をご紹介します。
<https://www.toyama-bousaishikai.org>
お問合せ info@toyama-bousaishikai.org

会 員
自己紹介

防災士 山口 哲夫 (氷見市)



防災士という資格があるた、どのようかもわからない員をしている方から勧められに入会しました。

ことを知らず、まにして活動するのい中、自治会の役とときに、市役所のれ、富山県防災士した。

何もわからない中、小杉理事長をはじめ、役員や仲間の皆様より防災士としての心構えや経験などを教えていただき、いつも勉強をさせて頂いています。今後も、いつ起こるかかわからない災害に十分に備え、危機感や切迫感を常時持ち続け、災害に対する情報の整理やスキルアップを図っていきたくと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

令和元年度の県市町村総合防災訓練に参加

県内各市・富山県の総合防災訓練が開催されています。富山県防災士会は以下の 12 会場で約 70 名が啓発普及活動に参加しています。

射水市	8月25日(日)	水戸田地区 地震土砂災害
南砺市		城端地区 土砂災害
高岡市	9月1日(日)	伏木中、牧野小 地震津波
氷見市		氷見市役所 地震、土砂災害
砺波市		高波・林・若林 地震災害
小矢部市	9月22日(日)	北蟹谷運動公園 地震災害
富山市	9月28日(土)	消防防災センター 地震等
魚津市	9月29日(日)	旧大町小学校 地震津波
富山県		入善町(黒東小学校)、黒部市(宇奈月中学校)、朝日町(やまざき紅悠館) DIG、HUG等
立山町	10月26日(土)	町立利田小学校 避難訓練

うち、砺波市総合防災訓練では、事前に配布された非常持ち出し袋を市民が持参し、震度7の地震の想定のもと各機関共同で一斉訓練がおこなわれました。富山県防災士会は、砺波市防災士連絡協議会と、災害時相互応援協定を締結している愛知県安城市の市民団体とともに、防災啓発活動を実施しました。



写真は、砺波市北部少年消防クラブが参加した砺波市防災士連絡協議会の段ボール椅子の制作と安城市NP0の

富山県防災士会は、令和元年度富山県学校安全アドバイザー(防災)を6校に派遣します

地震なまずジャッキアップ体験です。

学校安全アドバイザーは、県が指定したモデル校の危機管理マニュアルの点検・見直し、避難訓練に対して助言・指導をおこない、学校の安全管理及び安全教育の推進の充実を図るものです。今年度は、入善町立桃李小学校、魚津市立西部中学校、富山市立水橋中学校、射水市立東明小学校、氷見市立西條小学校、砺波市立庄東小学校の6校に12名の防災士を派遣します。

会員研修会のお知らせ

■女性防災士のつどい&一般公開イベント

- 開催:10月13日(日) 大沢野生涯学習センター
- 内容:10時30分~11時45分は「地域防災のネットワーク作りを考えよう!」ワークショップを開催。12時~16時は、「暮らしの中に防災を~大切な家族を守るために~」の一般公開イベントを開催。13時よりアウトドア流防災が「のあんどうりす氏の講演。多数の防災士の参加をお待ちしています。

■12月研修会

- 開催:12月8日(日)15時30分~17時 終了後懇親会
- 場所:富山県民会館701号室
- 内容:富山大学大学院理工学研究部 立石准教授より、富山県の地質や地盤災害、気象災害による洪水等を中心に講演をいただきます。

Topics

会員の活動から

富山県防災士会は、富山市からの委託事業として、富山市職員や地域防災リーダーへの育成研修のほか、富山県公立学校事務職員の避難所運営訓練(HUG)の運営を委託されています。



富山市職員	7月4日	2回 計160名
富山市自主防災組織リーダー	8月21日	計80名
富山県公立学校事務職員協会	8月23日	計200名

HUGでは各グループの進行支援のために、多くの防災士が必要です。今後も各自治体や自主防災会等で開催されますので、会員の積極的なご参加をお願いいたします。

★★ 私たちも応援しています ★★

賛助会員(8月現在)

- ・林建設(株)
- ・(医)五省会
- ・テラビッツ(株)
- ・全労災富山県本部
- ・宮本建築
- ・エムアイビジョン(株)

※本会の目的に賛同・協力していただける賛助会員を募集しています。